

盛岡市立病院 地域医療連携だより

No.32

平成 29 年 3 月発行

院長より挨拶

盛岡市病院事業管理者
兼盛岡市立病院長

かとう あきのぶ
加藤 章信



盛岡市立病院では、昨年4月から循環器内科と神経精神科に、10月からは糖尿病・代謝内科に、さらに、本年1月から泌尿器科に常勤医が赴任するとともに、この4月にも消化器内科、呼吸器内科の医師が増員となる予定であり、少しずつではありますが診療体制を整えながら職員一丸となって、さらなる病院経営の改善に取り組んでおります。今後とも、皆様方にお役に立てるよう努力して参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、今回お届けする地域医療連携だよりでは、(1)泌尿器科の手術開始、(2)専門・認定看護師の取組み、(3)認定理学療法士の取組み、(4)リハビリでの活動度スタンプの紹介ほかに関する内容を掲載させて頂きました。

いずれの内容も地域でご活躍の先生方、日頃からご支援いただいている介護事業所等の皆様に当院がどのように密接な連携を築いていけるかという趣旨で進めている取組みでございます。

結びとなりますが、皆様方のご健勝とご発展をお祈り申し上げるとともに、今後とも相変わらぬご支援のほどをお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

盛岡市立病院の基本理念

「優しさといわりのある病院」

「信頼され優れた医療の病院」

「開かれた地域医療のための病院」

3つの基本理念を掲げ、医療水準を高め、患者中心の医療を展開し、地域の中核病院として、より機能するとともに、健全な経営が行われる病院づくりを目指します。

目次

- 泌尿器科手術治療について … 2
- 消化器・栄養センターの設置について … 2
- 専門・認定看護師について … 3
- 認定理学療法士資格について … 4
- リハビリ「活動度シート」について … 5

盛岡市立病院 地域医療連携室

〒020-0866 盛岡市本宮五丁目15番1号

代表電話 019-635-0101 FAX 019-631-2102

URL <http://www.morioka-city-hosp.jp/>

＋ 『泌尿器レーザー治療』を開始いたしました

今年、1月に開設しました泌尿器科では、レーザーによる尿路結石除去、前立腺切除を中心に、本格的に手術を始めております。該当する患者さんがおられましたら、是非ご紹介をよろしく申し上げます。

【外来診療】

診察日は、月・火・木・金曜日です。

(時間／8:30～11:30)

【診療予約】

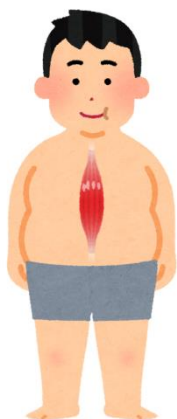
診療予約は、
同封いたしました【患者紹介FAX申込書】
により、お願いいたします。



＋ 『消化器・栄養センター設置』のお知らせ

4月から「消化器・栄養センター」を開設する運びとなりました。

当院の得意分野となっています消化器系疾患診療体制の充実を図り、少しでも地域の医療ニーズに
応えるよう設置するものです。消化器内科と外科のより一層の院内連携に努めるとともに、がん治
療の栄養管理、サルコペニアなどの対応のため栄養管理の領域についても、あわせて強化を図りたい
と考えています。詳しくは、次号でご紹介します。





専門・認定看護師資格取得への取り組み

当院では、専門及び認定看護師資格の取得に積極的に取り組んでおり、現在6名の専門及び認定看護師が在籍しています。

■ 専門看護師（2名）

がん看護専門看護師 御供 優子

慢性疾患看護専門看護師 栃内 優美

■ 認定看護師（4名）

がん化学療法看護認定看護師 目時 伸俊

皮膚・排泄ケア認定看護師 鈴木 詩希子

感染管理認定看護師 高見 洋

緩和ケア認定看護師 伊藤 由美



～ この中から、今回は 慢性疾患看護専門看護師 栃内優美 をご紹介します ～

このたび、日本看護協会から慢性疾患看護専門看護師の認定を受けました。慢性疾患看護専門看護師は、「生活習慣病の予防や、慢性的な心身の不調とともに生きる人々に対する慢性疾患の管理・健康増進・療養支援などに関する水準の高い看護を行う」と定義されています。対象は幅広い疾患・状態の患者さんとご家族であり、ケアに関わるスタッフも含まれます。それぞれの慢性疾患看護専門看護師が得意とする疾患群は、「サブスペシャリティ」として認定されており、私は「糖尿病」をサブスペシャリティとしています。

現在は、地域包括ケア病棟に所属し、糖尿病代謝内科・消化器内科・腎臓内科・循環器内科等の看護および退院支援や、神経難病の患者さんのレスパイト入院に関わっています。

糖尿病教育入院中の患者さんへの療養支援では、患者さん自身が身体の揺らぎを捉え、自身を大事に思うことができるような関わり、病いや症状に折り合いをつけて自分らしく生きられるような関わりを心がけています。例えば、糖尿病患者さんの足病変に対するフットケアを行っていますが、^{たこ}胼胝や^{はくせん}白癬による^{ひこう}肥厚した爪の直接的ケアだけでなく、ケアを患者さんやご家族と一緒に行うことで、患者さんが足に関心を持ち、継続できるセルフケア方法をお伝えしています。

また、主治医、地域医療連携室との協働や、院外では保健医療福祉専門職の皆さんと連携し、患者さんやご家族の意向を確認しながら、退院後の療養生活の調整・支援を行っています。近年は高齢の患者さんが多くなってきており、「1日4回インスリン注射をするのは難しい」、「施設での低血糖時の観察と対処が不安」、「退院後に内服管理やインスリンの自己注射を続けるためにどうサービスを入れたらいいか」、などの相談を受けます。住み慣れた地域での療養生活を支えるため、患者さんの加齢に伴う身体の変化、治療法や環境の変化などにも応じた支援方法を一緒に考えています。

慢性疾患患者さんの療養支援に関することで、困っていること、疑問に思っていることがありましたらご相談ください。今後は、地域連携、地域包括ケアシステムを支えるための院外活動を広げていきたいと考えています。よろしくお願ひします。



認定理学療法士資格取得への取り組み

～ リハビリテーション室の理学療法士が取得している資格（予定含）をご紹介します ～

- 滝村 薫 : 生活環境支援専門分野・介護予防認定理学療法士
日本理学療法士協会指定管理者（上級）
- 佐藤 真 : 運動器専門分野・運動器認定理学療法士
いわてアスレティックトレーナー
(2016年いわて国体にトレーナーとして帯同)
- 豊田 耕嗣 : 神経専門分野・脳卒中認定理学療法士
- 女鹿 友也 : 運動器専門分野・運動器認定理学療法士
3学会合同呼吸療法認定士
- 高橋 良 : 内部障害専門分野・呼吸認定理学療法士
(H29年度受験予定)
- 石倉 悠里 : 内部障害専門分野・代謝認定理学療法士
(H29年度受験予定)
- 中村 洋平 : 内部障害専門分野・循環認定理学療法士
(H29年度受験予定)



当院の理学療法士7名のうち4名が取得しております。日本理学療法士協会の認定理学療法士は、総会員数109,054名のうち、取得者はわずか3%（3,285名）であり、岩手県内では0.03%（36名）です。（2017年1月データ）

認定理学療法士とは、自らの専門性を高め、良質なサービスを提供する臨床能力を備え、理学療法の学問的發展に寄与する研究能力を高めていくことを目的としています。7つの専門分野のうち、多様な疾患に対応できるよう、当院では上記の専門分野に分かれて登録しています。

現在、岩手県内では介護予防認定理学療法士は当院のスタッフ1名のみ、運動器認定理学療法士は3名のうち2名が当院のスタッフです。また、理学療法業務のマネジメント能力の向上、地域包括ケアシステムにおける他院・施設との連携を強化する目的で制定された協会指定管理者（上級）を1名が取得しております。（岩手県内では3名が取得） これからも専門性を高め質の高いリハビリテーションを目指します。









担当した患者様が再び住み慣れたご自宅に帰ることができるよう、知識と技術、知恵と工夫を追求し続けるリハビリ室でありたいと思います！



リハビリ「活動度シート」の紹介

当院では、リハビリスタッフが機能的自立度評価法（Functional Independence Measure=FIM）という日常生活動作の評価法を用いて患者様の状態を評価しております。評価結果を基に、退院時に特に重要視される『食事動作』、『トイレ動作』、『移動』の3項目を『自立』、『見守り』、『介助』の3段階に分け、イラストと文章で表した当院独自の「活動度スタンプ」を作成しました。以前は患者様の動きや介助方法は口頭での伝達でしたが、活動度スタンプを患者様の床頭台に掲載することにより動作の確認が容易になりました。また、患者様自身やご家族にも現在の状況や退院時の目標を視覚的に分かり易く示すことが可能となりました。

〇〇 〇〇様	活動度シート	担当:◇◇・△△	●月◆日(▲) 現在
目標	<p>食事</p> <p>自分で食べます。</p> 	<p>トイレ</p> <p>自分で行えます。</p> 	<p>歩行</p> <p>病院内フリーです。</p> <p>独歩</p> 
現在	<p>食事</p> <p>介助が必要です。</p> 	<p>トイレ</p> <p>介助が必要です。</p> 	<p>歩行</p> <p>病棟内見守りです。</p> <p>歩行車</p> 
介助方法	セルフケア	移乗・移動	その他
	<p>○食事: 介助用スプーン使用し半分程度は自力摂取可能ですので促しをお願いします。</p> <p>○更衣動作: 上下衣共に準備が必要です。下衣は下着やズボンに足を通すことが出来ますが腰節まで上げる際に介助が必要です。</p> <p>○トイレ: スポンの上げ下ろしの際、半分程度は自分で行うことが可能なため促しと声掛けをお願いします。</p> <p>○整容: タオル、歯ブラシ等、道具の準備で自分で行うことが可能なため促しをお願いします。</p> <p>○入浴: 両側上肢、体幹前部等、自分で届く範囲は行って貰うように促しをお願いします。</p>	<p>○ふらつきが見られるため、病棟内を歩行する際は歩行器使用し見守りが必要です。</p>	<p>○難聴のため右側から大きな声で話しかけてください</p>



平成 28 年 2 月より、活動度スタンプで表した 3 つの動作の他に、整容動作(洗顔, 整髪, 歯磨き等), 入浴動作, 更衣動作といった日常生活動作の状況も分かるように記載した『活動度シート』を作成しました。介助方法を記載する欄には、動作の改善や目標を達成するために自立を促す介助の方法や、患者様が実際に出来ている動作が具体的に記載されております。また活動度スタンプと同様に患者様の床頭台に掲示し、更に同様の物をナースステーションにも保管しております。

活動度シートを使用し、全スタッフが退院時の目標達成に向かって患者様を支援させて頂いております。現在は院内のみの使用となっておりますが、今後は担当者会議等での使用も検討しており、ケアマネジャーや各施設職員等への情報提供の際に活用できればと考えております。

今後も他職種間の連携をより密に図り、患者様やご家族のご希望を伺いながら、個々の生活スタイルに合わせたリハビリテーションを提供させて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



■ 患者さんをご紹介いただく医師の皆様へ ■

- ご紹介時には、別紙「紹介患者(検査依頼)FAX 申込書」をご利用ください。
 - 申込書受信後、折返し次の書類を FAX 送信いたします。なお、受診日時、病状等を当院より電話で問い合わせさせていただく場合がございますのでご了承ください。
 - ・ 外来患者さんのご紹介 … 「ご紹介確認書」, 「来院のご案内(紹介患者様用)」
 - ・ 入院患者さんのご紹介 … 「転院連絡書」
 - 申込書は、平日の 17 時までにご送信していただくようお願いいたします。
 - ご紹介いただきました患者さんの診療情報は、随時提供いたします。
- ※ 時間外の救急、緊急入院が必要な患者さんのご紹介は、直接日当直医師にご連絡ください。

【紹介患者(検査依頼)FAX 申込書の送信先】

盛岡市立病院 地域医療連携室 FAX 019-631-2102

「紹介患者(検査依頼)FAX 申込書」は当院 HP からダウンロードできます。

【URL】 <http://www.morioka-city-hosp.jp/engaged/zyuzisya.html>